

「縁結び・災厄除けのお守り」 「ご神木」

椰の木写真帳



株式会社 GCJ

目次

1. 熊野速玉大社
2. 日吉大社
3. 熊野若王子神社
4. 熊野神社
5. 新熊野神社
6. 船山神社
7. 木熊野神社
8. 還来神社
9. 龍潭寺
10. 牛久保のナギ
11. 熊野神社
12. 宗徳寺
13. 足代八幡神社
14. 明石寺
15. 天宮神社
16. 春日大社
14. 石清水八幡宮
15. 信達神社
16. 櫻神社
17. 黒駒神社
18. 上賀茂神社 (賀茂別雷神社)

【槧の木について】

槧(なぎ)は、榊などとともに、古来、神の依り代として神事に活用されてきた常緑の針葉樹です。今でもご神木として各地の神社などで見ることができます。特に、熊野速玉大社の槧は日本最古かつ最大で、当時熊野三山造営奉行であった平重盛(清盛の嫡男)によるお手植えで、樹齢1300年と伝えられています。地方に数多く分布する熊野神社に槧の木が多く見られるのはこのためです。

槧は

また、恋愛成就・縁結びの木としても知られています。

葉を横に裂くことが難しいことから、

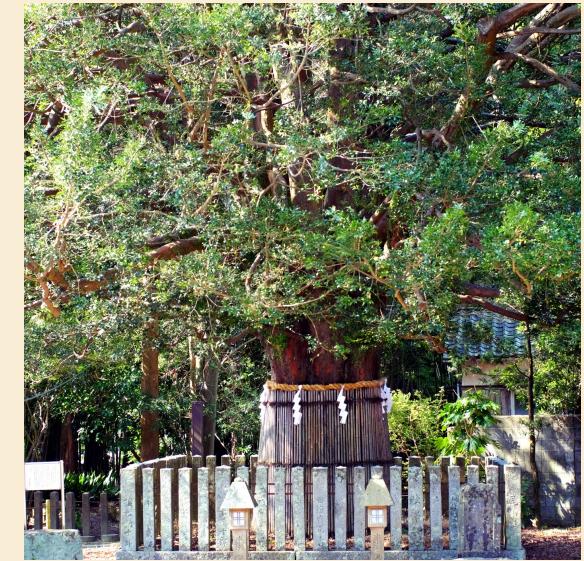
縁を結ぶ(縁が切れない)お守りでした。

静岡伊豆山神社のナギの木のもと、

源頼朝と北条政子が愛を誓いあったと言う逸話も残っています。

また、ナギと言う言葉の音が「凪(なぎ)」と通することから、

災厄除けのお守りとして古くから漁師を中心に伝わっています。



撮影日：2017年3月5日

熊野速玉大社 和歌山県新宮市

平重盛 (1138-1179 清盛の嫡男) お手植えによるものと言われているが。．．。
日本最大・最古の楓だと考えられる。

境内にそびえる樹齢千年のナギの大樹は熊野権現の象徴として信奉高く、古来から道中安全を祈り、この葉を懷中に納めてお参りすることが習わしとされています。熊野牛王とナギの葉をいただくことが、難行熊野詣を無事果たす大きな支えとなりました。

(熊野速玉大社 公式ホームページより)

幹回りが立派。何本かの木が合わさって一つになっているのではないか。．．。
神々しく圧巻。

幹回り 6m
樹高 20m

東本宮にある雌雄のナギの木。

「日吉雌柳(めなぎ)」「日吉雄柳(おなぎ)」と名付けられ、看板には

【日吉雌柳：男性が女性の幸せを祈る木。ナギは「雍ぎ払う」に通じ災難除けを象徴する】

【日吉雄柳：女性が男性の幸せを祈る木。ナギは「凪(な)ぐ」「和(なご)む」に通じ夫婦和合を象徴】

と記されている。

撮影日：2016年12月11日

雌柳

雄柳





にやくおうじ
熊野若王子神社 京都府京都市

永歴元年(1160年)後白河法皇が熊野権現を勧進して建立した若王子の鎮守社（若王子境内の看板より）

哲学の道の終点？にある神社

入り口にナギの大木が一本。看板には「京都府内で最も古い・・・樹齢については明確な記録は無いが、四百余年と推測される」とある。

「熊野若王子」「新熊野神社」「熊野神社」の3社で「京都三熊野」と呼ばれ、各神社にてナギの木が見られる。

撮影日：2017年7月9日

神社周囲を囲うようにナギは植えられている。

神社の隣は有名な「八ツ橋本店」。

「熊野若王子」「新熊野神社」「熊野神社」の3社で「京都三熊野」と呼ばれ、各神社にてナギの木が見られる。

撮影日：2017年7月9日



本殿両脇に配されているナギの木。

この他、まだ若くはあるが、奥に多数植栽されている。

「熊野若王子」「新熊野神社」「熊野神社」の3社で「京都三熊野」と呼ばれ、各神社にてナギの木が見られる。

撮影日：2017年7月9日



船山神社 香川県高松市仏生山町甲

本殿両脇に配されているナギの木。
この他、まだ若くはあるが、奥に多数植栽されている。

「熊野若王子」「新熊野神社」「熊野神社」の3社で「京都三熊野」と呼ばれ、各神社にてナギの木が見られる。

撮影日：2017年7月16日



善通寺市にある「木熊野神社」

もとは「紀伊熊野」で、熊野権現。明治の神仏分離令により、「木熊野」と改称。

看板によると、紀州から柳を移植し御祭神としており、1959年には県の天然記念物となり、別名「柳の宮」とも称される。

周囲をぐるりとナギの木が覆う姿がとても印象的。

敷地内も、ところ狭しとナギの木が植えられており、「柳の森」を形成している。

撮影日：2017年7月16日





浜松市制百周年記念事業
「湖北五山古木・御神木巡り」

龍潭寺 「柳の木」

- 樹種 いぬまき科の常緑高木
- 樹齢 四百年（推定）
- 樹高 十九メートル（直徑八五センチメートル）
- 幹周 二・六七メートル（直徑八五センチメートル）

井伊家二十四代伊直政（幼名虎松）幼少の頃井伊家の安泰を念じて植えられたご神木です。

一五六〇年（永禄年間）当時の井伊家は、二十二代直盛の戦死、二十三代直親が誅殺され、家老小野田馬の謀反など受難の時頃でした。
直政母子は龍潭寺松岳院に身を寄せ、お地蔵様を祀りその傍らに「なぎの木」を植えて我が子の安泰を日々念じたといわれます。

「なぎ」は風や波が静やかになる例えで、昔から厄除け災難が収まるとも云われています。

平成二十三年五月

奥浜名湖観光連絡協議会

撮影日：2017年10月8日

りょうたんじ
龍潭寺 静岡県浜松市

NHK大河ドラマ「女城主 直虎」で一躍有名になった直虎(次郎法師)ゆかりのお寺。

観光バスが何台も連なる観光地と化している。ドラマ内のエピソードで紹介されたナギの木。落ちている葉を探す人はいたが、賑わう寺の中に比べると、寂しくひっそりと立っていた。

看板によると「推定樹齢：400年 樹高：19m 幹廻り：2.67m」

虎松(二十四代直政)幼少の頃、井伊家の安泰を念じて植えられたご神木」とあり、これが本当だとすると、当時植えられた木がそのまま残っていることに？



大津と京都を結ぶ途中峠越えの道沿いにある神社。御祭神は「藤原旅子」。

式家の祖である藤原百川の娘。桓武天皇夫人で淳和天皇の母

枯れた太い柳の幹が祀られており(写真左)、その裏には二代目(?)とあるナギが育っている。

また、要所々々に植えられたナギが見られる。

当神社におけるナギの重要性が見て取れる。

撮影日：2017年8月20日

台風のせいか、今ではもう見られない

枯れた太い幹の柳



2代目の柳



スギの大木で目立たないが、本殿入り口左右にもナギの木を見ることがある

今では、左右ナギの木は上部を剪定された姿
スギの大木も今はなく、切り株が残るのみ



牛久保のナギ

国指定天然記念物
昭和十三年十一月十四日指定

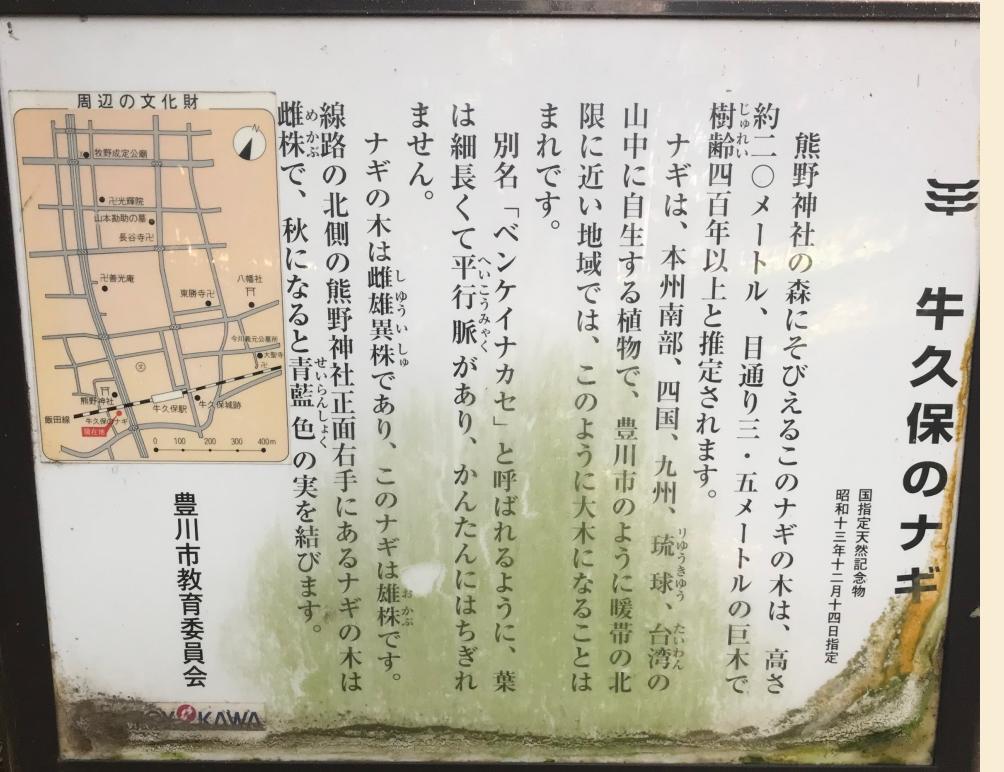
熊野神社の森にそびえるこのナギの木は、高さ約二〇メートル、目通り三・五メートルの巨木で樹齢四百年以上と推定されます。

ナギは、本州南部、四国、九州、琉球、台湾の山中に自生する植物で、豊川市のように暖帯の北限に近い地域では、このように大木になることはまれです。

別名「ベンケイナカセ」と呼ばれるように、葉は細長くて平行脈があり、かんたんにはちぎれません。

ナギの木は雌雄異株であり、このナギは雄株です。

線路の北側の熊野神社正面右手にあるナギの木は雌株で、秋になると青藍色の実を結びます。



牛久保のナギ（熊野神社境内） 愛知県豊川市

熊野神社にそびえるナギの大木。

看板によると

「推定樹齢：400年以上　樹高：20m　目通：3.5m」

となかなかの巨木

熊野神社

 愛知県豊川市

牛久保のナギの位置から、JR飯田線の線路を挟んだ北側の神社入り口に一本、本殿正面右に一本、その他境内内に2本、計4本の櫟の木を確認できた

撮影日：2017年10月8日





宗徳寺 愛知県蒲郡市

1945年の三河地震で出来た地割れができる場所。

蒲郡の銘木50選と言う看板あり。
しかし、悲しいかな、私道に面していて危ないからなのか、弱ってきてるからなのか、バシバシ剪定されている姿が、なんとも痛々しく感じられた。

妻にナギの前で手を広げて貰ったが、それなりの幹回りであり、長い間当地にあることが推測された。

撮影日：2017年10月8日



明石寺 愛媛県西予市宇和町

山手に佇む立派なお寺。
修験者が普通に手を合わせて拝んでいる姿に
出会う。

直径は60cmもあるうか、
二股に幹別れした立派なナギの木。
社務所の方にお話を伺うと、樹齢350年くらいはあるのではないかとのこと。
先を10数年に一度は切り落としており、成長
が良く伐らないと危ないのだそう。

熊野神社が併設されており、ナギの木は熊野
速玉大社から苗を与えられたものなのではない
かとのこと。

撮影日：2018年12月05日

足代八幡神社 徳島県三好郡東みよし町

小さな町の通り沿いにある神社。

午後の4時ごろに訪れる。

周囲は民家なのだが誰もおらずひっそりしている。

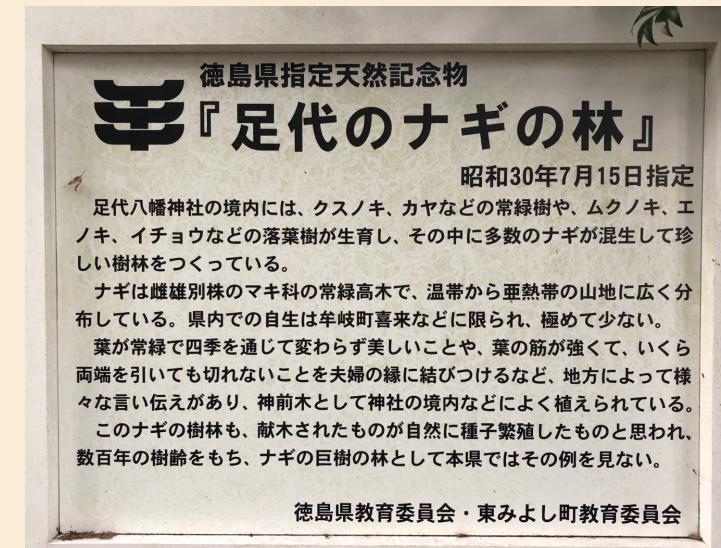
徳島県指定天然記念物「足代のナギの林」との看板がある。

ぐるりと柳の木が神社を取り囲んでいる。

看板には、

「(このナギの樹林は)献木されたものが自然に種子繁殖したものと思われ、数百年の樹齢をもち、ナギの巨樹の林として本県では例を見ない」とある。

撮影日：2018年10月26日





東みよし町のホームページより抜粋

「八幡神社のナギは、南の集会所（旧薬師堂）の東の木が最も太く、幹の太さは胸高で2.4m。神社境内の鳥居の東の木が1.91mである。この他この2本から増殖したと思われる。

0.7m位のものを入れて20本程あり、イチョウ・クス・カシその他の樹木と混在し社叢を形成している。

鎌倉時代の歴史書『吾鏡』には源頼朝が三野田保を元暦2年（1185）に石清水八幡宮に寄進した記録が残されている。足代八幡神社はこの時代に石清水八幡宮の分霊を勧請して造立されたと言われている。分霊の史実は見あたらないが、ナギの社叢から推察することができる。」





あめのみや
天宮神社 静岡県周智郡森町

創建は「欽明天皇の時代に. . . 」とあり、
1500年ほど経っている計算。

「雄柳」で県指定の天然記念物でありご神木。
出会った中でもかなり立派、そう簡単にお目に
にかかるものではなく、自然と手を併せ頭
を垂れた。

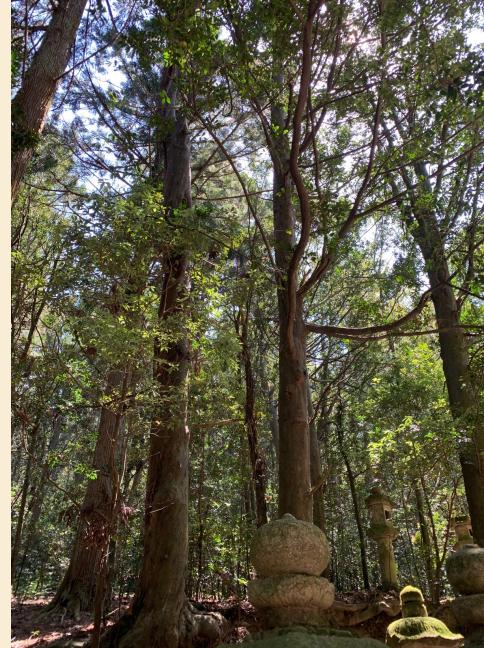
若い雌ナギも育っているらしいが見逃す

撮影日：2019年03月13日



素晴らしい胴周りだが

幹の内部は空洞になっている



参道に大きなナギの木が無数に存在する

春日大社 奈良県奈良市

大社敷地内のいたるところにナギの木が存在する。創建時に献木されていらい繁殖したものではないかと言われる。1,000年生のとまで言えるものは流石にないのだが、それなりに立派に育った個体から、若木まで幅広く存在している。

当社では、神事に今でもサカキではなくナギの木が使用されているとのことで、当社のご神木群とも言えるだろう。

撮影日：2019年5月11日

ハイキングコースとなっている『春日奥山遊歩道』を首切地蔵まで登り、『滝坂の道』を降りるコースを散策した。

ナギの木が侵食し、従来の植生を駆逐しているとのことで、ナギの木をある程度伐採すると言う話も小耳に挟んでいる。ナギラクトンがどうのと言う話もあるが、シカに食べられない木であることが影響しているのだろう。

遊歩道の始まりは下写真のようにナギの木の群落と化しているのだが、標高100m近くまでテクテク登るとナギの木は見られなくなる。植栽されたスギ・モミジの他、シイ・カシなどの広葉樹の混交林となっていた。100mの違いがナギの木の生育に影響しているのだろうか。



遊歩道を入ってすぐあたり：周囲はナギの群れが優勢。ナギの若木が無数に更新している



岩清水八幡宮

京都府八幡市

本殿正面左側に育っている。他神社で立派なナギの木と比べるとまだ若いがなかなか見ごたえがある。

本堂を外れ、石畳のある参道になっている山道を下り、ナギの木を探してうろうろ。

すると、一部ではあるが、ナギの木が数本育っている場所を発見。

石清水八幡宮でナギの木がどのような扱いになっているのかは、文献を発見できていないのでわからないが、御神木であることは間違いないさそうである。

撮影日：2019年07月06日

御神樹ナギ

信達神社のナギは、神社本殿の前方、東側に立っている。

三十一日に大阪府の天然記念物に指定された。
幹は直立し、幹周ニ・五m根周ニ・七m樹高十九・五m

に達する巨樹で、府下最大のものであり、平成十五年一月

ナギは、日本では主に紀伊半島、四国、九州の南部に育つ

常緑の針葉樹で、その葉は平たく筆の葉のような形をして
いることが特徴で、またナギは「風(なぎ)」に通じており、

その木はお守りとして使われ、室内安全、縁結びにも御利益
があるといわれている。

ナギは、一般に神社林の樹種で、ちなみに紀州では熊野權現
との係わりから權現という社名の神社に植えられたといわれる。

信達神社は神武天皇・金山彦命・伊邪那美命を祭神とし、後に
金峯・熊野の神を勧請して合祀され、江戸時代を通じて金熊寺
權現(明治初年から信達神社)と称された由緒から、御神樹と
して植栽され、手厚く育まれてきたなかで今日にみる巨樹になつたと考えられる。

樹高：19.5m 幹周：2.5m 根周：2.7m

信達神社 大阪府泉南市

大阪府の天然記念物に指定されている。
阪和道路の泉南ICを車で降りて比較的すぐのところ。
場所的にはわかりにくいのでナビを頼りに。

本殿内の向かって右側(東側)に堂々と聳えている。
大阪府内にこんな立派なナギの木があるとは驚きだった。

なぜこの神社にナギの木が植えられたかは、あくまでも推測のようだ
が、上写真を参考に。

撮影日：2019年08月08日

柳神社 京都府京都市

写真左が「柳神社」、右が「隼神社」。
真ん中にナギの木が鎮座している。

看板によると、869年に京で疫病が流行したとき、牛頭天王の神靈を播磨国広峰から勧請し鎮疫祭を行ったとき、その神輿を柳の林中に置いて祀ったのが柳神社の始まりとのこと。

神社の周囲にナギの木が植えられているなど、ナギマニアにとって、見つけるのが楽しい場所。



撮影日：2019年09月23日

雄榔



黒駒神社 福井県小浜市

「小浜市加斗地区西勢の氏神、黒駒神社境内のナギの木・・・目通り3.44m、地上3mのところで二股に分れ、双方とも太さ1.7m、西の方は素直に空にのび、東の方はやや斜めにのび東西に16mの枝張りをみせる。古者の口伝によると、樹齢は約600年、今なお樹勢旺盛で少しの衰えもみせていない。根元にえぐったように空洞があるが幹全体に及んでいない。村人はこの空洞に「神」宿ると称し崇めている。」

このナギの大木の他に約30m離れ、神社の背後にそそりたつ岩盤の傍に、目通り1.5mのやや小さな1本のナギの木がある。村人はこの大小2本のナギの木を夫婦の樹と呼び、小さな方をむかし珍木として酒井の殿様に寄進し城内に移植したところ、夜な夜な夜鳴きするので村へ返されることになり、そのとき使者は不吉なりどなりながら岩盤にたたきつけたときに出来たものだという大きな岩片が幹に食い込んでいる。」

小浜市教育委員会 若狭小浜デジタル文化財より



雌榔

撮影日：2019年08月08日



上賀茂神社（賀茂別雷神社） 京都府京都市

散策路にひっそり 1 本立っているナギの木を見つける。
この 1 本しか無いと思われる。

撮影日：2020年08月16日